

3-3 進路先の調査

進路情報

1. 題材設定の理由

高校を中退する者が県内で毎年千人ほどいる。また、就職しても職場に適応できずにやめたり転職したりする者も少なからずいる。

こういった現状の原因は色々考えられるが、最も大きいと考えられるものは、入学や就職の前に学校や事業所の内容や特色等を十分に理解していなかったことである。

学力だけで進路先を決定したり、自分の考えをもたずに進路を人任せにしたりするのではなくて、上級学校や事業所の内容、特色、その他の条件が自分の進路計画に合っているかどうかを吟味させたいと考えた。

2. 指導のねらい

第1時：進路先の調査の目的や方法を理解させ、自分の希望する進路先の調査や研究を進んで行おうとする心構えをもたせる。

第2時：希望する進路の調査結果を発表することを通して、現在の進路希望先が自分の進路に本当に適しているかどうかを考えさせる。

3. 指導計画（全2時間）

事前	・希望する進路先について知りたいことなどのアンケート調査をする。
本時	①調査方法を考え、役割分担をする。 ②調査結果を発表する。
事後	・調査結果をまとめて掲示する。 ・調査上不明な点については、「一日入学」で代表者に調べてきてもらう。

<説話例> ー卒業生の作文ー（導入時）

わたしは将来歌って踊れる舞台俳優になりたいと考えていました。2学期も終わりになって、クラスのみんなは進路先を決め、わたしだけがはっきりしない状態でした。受験案内書を見ていると、演劇を勉強できる高校が

見つかりました。これだとわたしは決めました。先生に相談して手続きの仕方や受験の状況を調べてもらいました。両親も説得して、なんとか合格できました。でも、通学時間が長く朝早く家を出て、夜遅く帰る生活に疲れたし、またわたしの考えた授業内容でもなかったので、入学当初からやめたいと思うようになりました。1学期は我慢して続けましたが、やはり無理でした。

（第1時）

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・進路先の調査・研究が、適する進路を選択するために必要であることを理解する。	◎進路先を十分に調査しなかったために失敗した事例などの話を聞く。 ◎自分の考えを書く。	・失敗事例の作文や高校中退者数の表などを提示し、それに対する考えをもたせる時間を確保する。	・失敗事例の作文 ・中退者数の表 資料編 P.91 ^[2] 、P.92 ^[4]
	課題：進路先の調査の方法や内容を確認め、実際に調査を行って進路選択に生かそう。			
中心的活动	・進路先について知りたいことを出し合い、調べる方法を考え出す。	◎どんなことが知りたいのかを発表する。 ----- 高等学校 ----- ・所在地 ・授業料 ・学科の種類や特色 ・部活動 ・卒業後の進路 ----- 事業所 ----- ・所在地 ・仕事内容 ・賃金 ・職種 ・福利厚生 ◎どんな方法で調べるかを考える。 ・パンフレット ・進路紹介の本 ・見学 ・求人票 ・先輩に聞く ・インターネットによる情報	・アンケート結果を提示する。 ・「一日入学」や見学会、職場見学があることを知らせる。	・P.46 ^[1] ・アンケート結果の集計表 ・P.46 ^[2]
まとめの活動	・調査内容を確認し、調査の具体的な計画をする。	◎各グループごとに調査先を決める。 ◎各グループで役割分担をする。 いつ、誰が、どこを、どのように。	・各グループで1つずつ調査先を決めさせる。 ・自分の進路先も調べさせる。	

（第2時）

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	課題：調査結果を交流し、進路選択に生かそう。			・P.47 ^[3]
	・進路先について知りたいことをまとめることで、進路に対する関心を深める。	◎調査結果の発表の準備をする。 ◎他のグループの発表の中で質問したいことをまとめる。	・各グループの発表時間の確認をしておく。	
中心的活动	・調査結果を交流することで、自分の進路先について、さらに調査したり進路希望を検討する意欲をもつ。 ・いろいろな進路先について理解する。	◎調査結果を持ち寄り、上級学校や事業所の特色、内容を発表し、調査した時の話題や感想をもとに意見交流する。（グループ発表）	・調査結果は事前に点検し、不十分な内容については補充、修正を加えておく。 ・調査の結果、進路希望が変わったという生徒がいたら、その理由を発表させる。	
まとめの活動	・調査結果から、自分の進路選択についてさらに考える。	◎調査を終えての感想や改めて考えたことをまとめる。	・調査結果と自分についてのまとめから、進路先を考え直させる。	・P.47 ^[4]